

I A C ・ 米山奨学生 国際交流会

10月31日、清風南海高校において、ロータリアン41名、米山奨学生26名、インターアクトおよび顧問の先生74名、合計141名の参加で、国際交流会が行われました。また午後からの学習発表会のオープニングとして、岸和田市立和泉中学校ブラスバンド部35名による演奏もありました。

今回の交流会では、例年人気の高い料理の項目はなかったのですが、その分、語学、音楽、ダンス、美術、ゲームが充実しており、中国語で歌を歌ったり、「冬のソナタ」の1シーンから韓国語を学んだり、奨学生の方の国の伝統的な遊びを教えてもらったり、篆刻を指導してもらって印を作ったりしました。どのグループも、短い時間の中で、テーマに沿った勉強をしたのはもちろんですが、それ以上に、他の国の文化や習慣に触れ、コミュニケーションを交わすという、国際交流会ならではの貴重な体験をすることができたと思います。

私は「韓国語と民族衣装」に参加しました。その中で、実際に韓国の民族衣装のチマチョゴリを着せてもらい、日常会話も教えてもらいました。日常生活での作法の違いについても知ることができ、とても良い勉強になりました。

もし、自分が外国に行って日本のことを知ってもらいたい時、今回の奨学生の方々のように、自分の国の文化や伝統をうまく伝えることができるかなと思いました。国際交流というのは、お互いの文化や習慣を理解し合うだけではなく、自分の国の文化や習慣、そして国民としての誇りを大切にしていけることが大切だと感じた1日でした。

本校のインターアクトとしては、これほど多くの方が参加される行事をホストするのは初めての経験でした。大人数を迎えるにあたって、準備の間に合わないことや、行き届かないことが多くありましたが、清教学園インターアクトのみなさんに助けていただき、また、参加された方々のご理解とご協力のおかげで、充実した交流会となり、無事閉会式を迎えることができました。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださったロータリーの先生方、毎日勉学でお忙しい中、綿密に企画してくださった米山奨学生のみなさま、そして顧問の先生方に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(清風南海 I A C 会長 森本あすか)